

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

♡ことばの力 ♡からだの力 ♡こころの力

# 園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成28年7月6日



梅雨をたのしもう!

## 「たんけんたい」出発!

雨が降ると、これまでは保育室で静かに過ごしていましたが、今年からは、雨の日も園庭へ。園で用意した黄色いポンチョ風の雨合羽を着て、長靴で水溜りをたのしんでいます。子どもたちは大喜びです。案外、こんな経験は少ないのでしょうか? 「遊びの天才」といわれる子どもたち、本領発揮して梅雨を存分に楽しんでいます。



保護者会主催 研修「表現アーツ・セラピー」



6月27日(月)、保護者会主催の研修が開催されました。全身を使って歩いたり、過去の自分、今の自分の気持ちを絵に表現し



たりしながら、ゆっくりと自分と向き合っていきます。そして、他者とも共有していきます。毎日慌しく生活していますが、この空間で、自分を見つめ直し、少しすっきりされたようです。大人も元気が一番! 保護者会の皆様ありがとうございました。



## ようこそ! こども美術館へ

「絵画から見える子どもの育ち」



本作品は、3歳児 うめ組 大川優花さんが描いたものです。この時期の大きな特徴として、円の中に、目・鼻・口を入れて手足を描きます。そして、頭と手足だけの頭足人から、胴を描くようになっていきます。優花さんは、まず、大好きな「カーカ」(お母さん)を右に大きく描き、次に、「ちゃんちゃん」(おばあちゃん)を描いています。その「はめ込み」のバランスが絶妙、大人には決して真似ることができません。好みの色を使い分け、伸びやかに力強く表現しています。この時期は「カタログ期」と一般に呼び、遠近・上下・空と地面の空間的表現ではなく、紙面に互いに関連なく並べて描きます。そして、描いてから、「見立て」・「名付け」を行います。本児もそこで、大好きな人物を登場させたのでしょうか。3歳児ならではの想像力と表現力、実におもしろいですね。



## 逆境に生き抜く力を育てたい

たくさん子ども達との生活の中で、家庭生活では得にくい様々な体験や困難を経験します。その中には、ケンカやぶつかり合い、物の取り合いのように、大人にとってやめて欲しい行為もありますが、そのようは経験の中から、譲り合いやまんな、協力などという大人になるにはとても大切な、人に対する優しさも身につけます。



近年、思春期に子ども達の病理として捉えられることの中に、幼児期の人とのかわり難い経験不足によって、人との関係をうまく結べないことが原因と思われる犯罪行為が多発しています。又、現在の子ども達の活躍する21世紀は、人口高齢化問題、大気汚染、エネルギーの問題など、地球規模で現在では想像できないほどの困難な時代が予想されます。どのような状況が訪れようとも、地球のために困難に立ち向かい、創造的に生き抜く力を獲得して欲しいと願っています。

上記は、大阪府私立幼稚園連盟のホームページに掲載されていたものです。理屈では分かっているけど、我が子がけんかしたり、いじわるされたりすると、心配になるのは当然な感情です。私もそうでしたから。(笑)

今、子どもは、幼稚園という社会でもまれながら、「生きる力」を身につけています。いつまでも親が守ることはできません。親はそのことをよくよく意識しておかないと、子どもの自立を妨げることにもなりかねません。私は、このような事例をこれまで数多く見てきました。

自分の感情に気づくことからコントロールが始まります。ちょっとした「意識」で自分の感情は変化するものです。